

草津志那湖岸と草津水鳥観察所

草津志那湖岸は、遠浅とエリ漁のエリにかこまれ、水鳥達が安心して居られる場所で多くの水鳥が越冬します。2011年度は26種の水鳥を確認し(カモ類は18種)同時期の琵琶湖一斉調査の結果33種の約80%の種類を草津湖岸でも観察しています。コハクチョウも以前から飛来しております。(1992年(平成4年)9羽飛来した記録がある)2000年(平成12年)“草津湖岸コハクチョウを愛する会”設立とともに湖岸を活動拠点にしました。当初は囲いを設け風雪雨を凌いでいましたが、訪れる人々が増加したため休息、避難場所として仮小屋を設置しました。次第に小学校等の水鳥観察会で環境啓発の生きた教育の場所、癒しの場所として「観察所」としての公共性をおびてきました。このため飛来するコハクチョウや水鳥の情報を発信する仮設の観察小屋を設置しました。この時、湖岸緑地を管理する部署から湖岸使用の許認可の問題が発生しましたが、県市関連部署の計らいで、2008年(平成20年)緊急避難用東屋が完成、草津市が県から借用、当会が飛来期間中「草津水鳥観察所」として管理する事になり現在に至っています。



草津水鳥観察所(第4代目)と
小学校水鳥観察会

草津市立水生植物公園みずの森

1996年(平成8年)に開園、「植物と人、水と人のふれあい」をテーマにした、琵琶湖の自然に囲まれた植物公園です。ハスやスイレンなどの水生植物をはじめ、四季を通じてさまざまな植物と接することができます。また隣には、日本でも有数な、ハスの群生地があります。冬期、ハス群生地はコハクチョウのねぐらとして利用する時があります。毎年当公園“ロータス館”於いて冬期(1月)「環境写真展・冬の使者」、夏期(8月)「コハクチョウ写真展」を開催して来場者から好評を得ています。



冬のハス群生地

琵琶湖畔の各地飛来地(湖岸道路に沿って)

琵琶湖に飛来するコハクチョウは、広い浅瀬のできる地域や大河川の河口部に飛来します。主な飛来地は長浜市と高島市の湖岸ですが、湖東地域でも赤野井湾を含む草津市の湖岸や野洲川河口、愛知川河口、犬上川河口にも少数が飛来します。これらの飛来場所のほとんどが水深が浅く、水生植物の群落が広がる場所です。近年、改修工事や、湖岸のレジャー利用(釣り、カヌー、ジェットスキー)などでコハクチョウが安心して生息できる湖岸が少なくなってきました。

早崎内湖ビオトープ : ビオトープ: 生物空間、生物生息空間

早崎内湖ビオトープは、干拓田の4分の1を灌水し調査を行っている、日本最大のビオトープ実験地です。当長浜市早崎町の干拓田は、1964年(昭和39年)食糧増産のため、内湖を埋め立てて作られた水田です。しかし、現在では豊かな自然を取り戻すため、干拓田を元の内湖に戻そうとする動きが進んでいます。ビオトープ実験調査がはじまってから、コハクチョウが年々増え現在では滋賀県で有数の飛来地となっています。



早崎内湖ビオトープ

湖北野鳥センター、琵琶湖水鳥・湿地センター

湖北野鳥センターは、1988年(昭和63年)11月に琵琶湖岸に多い水鳥の生態を学び、多くの人に野鳥に対して関心を持ってもらい、水鳥を保護を啓発することが目的で、開設されました。二階は観察コーナーで、琵琶湖岸の水鳥をフィールドスコープを使って間近に見ることができます。また、展示コーナーには、コハクチョウやオオヒシクイをはじめたくさんの鳥のはく製(65種類86点)があり、写真や解説パネルなどによって「琵琶湖の水鳥たち」について学ぶことができます。



湖北野鳥センター

琵琶湖水鳥・湿地センターは、1993年(平成5年)に琵琶湖がラムサール条約・登録湿地となったことから水鳥の保護と湿地の保全推進を目的に1997年(平成9年)5月開設されました。北海道のクッチャロ湖、厚岸湖・別寒辺牛湿原に次いで全国3番目の施設です。一階には、約50名が収容できるレクチャールームや生態調査・湿地保全のための研究設備を備えた研究室があります。二階には展示室があり、三階のカメラがとらえた最大66倍の迫力ある画像を大画面で見られるほか、写真や解説パネル・パソコンによる水鳥 Q and Aによって「琵琶湖とラムサール条約」・「琵琶湖の風物詩」・「琵琶湖の水鳥たち」について学ぶことができます。



琵琶湖水鳥・湿地センター

当センター周辺は多様な水鳥が生息しています。冬期は越冬地として飛来する水鳥の種数や個体数も多く、コハクチョウは1971年(昭和46年)頃から定期的に飛来しており、現在毎年幼鳥を連れたコハクチョウの群れが見られます。特に国の天然記念物であるオオヒシクイが冬期にカムチャッカ半島から飛来します。日本には数千羽しか飛来せず、琵琶湖は南限の越冬地として大切な所となっています。

: 生息種数~2010年10月までに、44科、236種、野鳥センターにて確認

湖北野鳥センター
草津湖岸コハクチョウを愛する会